

## 第 57 回プログラミング・シンポジウムの開催にあたって

毎年夏休みが過ぎると、次回のプログラミング・シンポジウムは本当に発表が集まるだろうか、参加者はどれくらい集まるだろうかと心配になりますが、今年も無事にプログラミング・シンポジウムを開催することができました。今回の参加者数は、スポンサーの方、招待講演の先生を合わせて 93 名であり、一昨年 の 85 名、昨年 の 82 名から増加し、3 年ぶりに 90 人台を回復しました。発表者の方々、御参加の方々 に心より感謝申し上げます。世の中ではテロといった物騒なニュースが頻繁に聞かれるなど、内外で何となく閉塞感を感じてしまう今日この頃ですが、本シンポジウムのような学問や研究の世界では、閉塞感のない活発な議論が展開されることを期待したいと思います。

学生による発表論文を対象を限定した「コメントフィードバック」は 3 年目を迎え、制度としても定着してきたように思います。今回は 8 件の申し込みがあり、3 件キャンセルがあったものの、5 件に関してコメントフィードバックを行いました。学生にとってみると、論文締切りが一般より 20 日ほど早く設定されているため、日程的には非常に厳しいものがあると思います。一方でコメントを返す本シンポジウムの委員長と幹事団は、1 週間程度で論文を読みコメントを作成する必要があり、これもまた厳しい日程です。厳しいことはお互い様です。委員長と幹事団は歯をくいしばってコメントを作成しています。学生の皆さんも、キャンセルなどせず、歯をくいしばって論文を書くようにしましょう。それにより、論文自体・研究そのものの方向性に関する有益なコメントが得られるはず です。学生を指導なさる先生方も、趣旨を御理解くださり学生を激励して下さいますよう、よろしく願いいたします。

昨年の夏のプログラミング・シンポジウムは、3 年続いた「都内日帰り、参加費無料」という方式から 2 泊 3 日の合宿形式に戻し、「プログラム詠み会」というテーマで 2015 年 9 月 4 日から 6 日まで、岐阜県下呂温泉にて開催しました。合宿形式に戻したとはいえ、冬のプログラミング・シンポジウムと同様の論文・研究の発表ではなく、合宿を行いながらプログラムを作成するハッカソン形式での開催でした。プログラミング・シンポジウムとしては初の試みであり、参加人数も 16 名と小規模でうまくいくか心配しましたが、交流が密になる・参加者全員報告が可能となるなどの、人数が少ないが故のメリットが生じました。幹事の横山大作先生、竹内郁雄先生、原田康徳さん、上田真史さん、八木原勇太さん、どうもお疲れさまでした。

第 48 回情報科学若手の会は、2015 年 9 月 19 日から 21 日まで、最近恒例の静岡県伊東市の山喜旅館で開催されました。参加者は招待講演の方を含めて 52 名と、

相変わらずの盛況でした。いろいろな分野の若手が集まり議論を行う有意義な会ですので、プログラミング・シンポジウムとしても若手の会を今後もバックアップしていきたいと考えております。幹事の浅野智之さん、橋本竜也さん、山下美穂さん、大島孝子さん、小谷大祐さん、岩成達哉さん、辻順平さん、黒崎優太さん、どうもありがとうございました。

幹事の交替は、昨年度末で長慎也さんが御退任し、新たに上田真史さん、馬谷誠二さんに加わっていただきました。長さん、長い間ありがとうございました。また今年度末で、中山心太さん、松崎公紀さん、三好健文さん、横山大作さんが御退任の予定です。現在の幹事は、上田真史さん、馬谷誠二さん、中山心太さん、松崎公紀さん、三好健文さん、山田浩史さん、横山大作さんです。

なお今回のシンポジウムは、サイボウズ株式会社様からスポンサーとしてのご支援をいただいております。

プログラミング・シンポジウム委員会

幹事長 岩崎 英哉 (電気通信大学)